

公共部門における県産材利用の実績、計画

県、市町や民間における公共施設整備（公共建築物等、公共施設における工物及び木質バイオマス利用）及び公共土木工事の利用実績と計画は以下のとおりです。

1 平成 28 年度実績

コミュニティ施設や公営住宅、観光施設、福祉施設、学校などの木造・木質化に取り組んだことや、治山、林道、河川工事や農地造成等で発生した木材を法面被覆材料として利用した結果、目標に対する実績は109%となり単年度目標を達成しました。

| 区 分 | 公 共 施 設 等 県 産 材 利 用 | 公 共 土 木 工 事 等 県 産 材 利 用 |
|------------|----------------------------------|-----------------------------------|
| | 県産材利用量(m ³) (総木材利用量) | 県産材利用量(m ³) |
| 県 (県営、県補助) | 1, 111 (2, 495) | 15, 898 |
| 市 町 等 | 2, 698 (3, 178) | 934 |
| 計 | 実 績 | 3, 809 (5, 673) |
| | 目 標 | 6, 200 |
| | 達成率 | 61% |
| 合 計 | 実 績 | 20, 641 m ³ (達成率：109%) |
| | 目 標 | 19, 000 m ³ |

※ 総木材利用量：22,505 m³

2 平成 29 年度計画

公営住宅や観光施設の建設、工業団地造成等での現地発生材の利用を計画することに加え、治山、林道、砂防工事や合板型枠を含む仮設や保安資材等での利用、バイオマス利用などを計画します。

| 区 分 | 公 共 施 設 等 県 産 材 利 用 | 公 共 土 木 工 事 等 県 産 材 利 用 |
|------------|----------------------------------|--------------------------------------|
| | 県産材利用量(m ³) (総木材利用量) | 県産材利用量(m ³) |
| 県 (県営、県補助) | 1, 405 (3, 493) | 15, 972 |
| 市 町 等 | 2, 747 (3, 443) | 1, 086 |
| 計 | 計 画 | 4, 152 (6, 936) |
| | 目 標 | 6, 200 |
| | 達成見込み率 | 67% |
| 合 計 | 計 画 | 21, 210 m ³ (達成見込み率：112%) |
| | 目 標 | 19, 000 m ³ |

※ 総木材利用量：23,994 m³

各部署の取組状況等の報告

| 知事戦略局 | |
|-----------------|--|
| 平成 28 年度 の取組 | <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none">・ 県民だより（平成 28 年 6 月号）で、森林認証制度、森林認証材について紹介（広聴広報課）・ TV「ラぶらり shizuoka」（平成 28 年 5 月 30 日放送）で、「伝統と技術 県産家具の魅力!」を放送し、本県産材で作る県産家具の魅力を紹介（広聴広報課）・ ラジオのお知らせ（平成 28 年 6 月 13 日放送）で、「森林認証推進月間」について紹介（広聴広報課） |
| 平成 29 年度 の計画 | <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none">・ 各媒体の特性を生かして県産材活用に関する助成制度や県産材が持つ特長や心地良さをPRしていく（広聴広報課） |

経営管理部

平成 28 年度
の取組

＜公共建築物での県産材の利用＞

- ・ 下田市内に新築する防災棟（仮称）の設計について、内装木質化により県産材を使用する計画とした（管財課）
- ・ 公共建築物の建築にあたり、工事依頼課に県産材の利用促進を働きかけた（H28 実績：西部特別支援学校校舎の内装及び体育館の木造化、富士山世界遺産センター（仮称）の内装等）（営繕企画課）
- ・ 県有建築物の整備にあたり、工事依頼課と連携して、可能な限り県産材の利用に努めた（西部特別支援学校の校舎他の内装木質化、体育館を木造（F S C材をモデル実施）、ファルマバレーセンターの内装木質化）（営繕工事課）
- ・ 建築関係職員向けに、県産材を活用した現場の研修を実施した（西部特別支援学校、富士山世界遺産センター（仮称））（営繕工事課）
- ・ 建築関係の若手職員向けに、木材の性質、木造建築物の維持管理等の座学研修を実施した（営繕工事課）

＜市町、民間での県産材の利用＞

- ・ コミュニティ施設への県産材利用の働きかけをした（補助金交付箇所 19 箇所のうち、6 箇所で県産材を使用）（地域振興課）

○主な県産材利用施設 （単位：m³）

| 施設名等 | 県産材利用量 |
|-----------------|--------|
| ・ 地区公会堂での県産材の利用 | 17 |

平成 29 年度
の計画

＜公共建築物での県産材の利用＞

- ・ 下田市内に新築する防災棟（仮称）の工事について、内装木質化により県産材を使用する（管財課）
- ・ 「公共建築物等の木造・木質化に関する基準」に基づき、2階建以下の建築物の原則木造化や、全ての建物の内装の原則木質化など、工事依頼課に対して県の方針を説明するとともに、県産材の利用拡大を働きかけ、工事依頼課と連携して、施設の木造化や内装の木質化など、県産材の利用拡大に努めていく（富士山世界遺産センター（仮称）の木格子、高校長寿命化改修（6校）の内装、下田総合庁舎防災棟の内装、日本平山頂シンボル施設の木質化・内装（木組）、富士山静岡空港の木梁・内装、吉原林間学園の内装・体育館を木造）（営繕企画課、営繕工事課）

＜市町、民間での県産材の利用＞

- ・ コミュニティ施設への県産材利用を働きかける（地域振興課）

くらし・環境部

平成 28 年度
の取組

＜公共建築物での県産材の利用＞

- ・ 県営住宅の建替え（1 団地 30 戸）、全面的改善（2 団地 70 戸）において腰壁や床材等に県産材を使用した（公営住宅課）
- ・ 県立森林公園ビジターセンター・ウッドデッキの改修に県産材を使用した（環境ふれあい課）

＜公共施設における工作物での県産材の利用＞

- ・ 県立森林公園内の木橋の架け替え、木製遊具の更新に県産材を使用した（環境ふれあい課）

＜公共土木工事での県産材の利用＞

- ・ 自然ふれあい施設、県有林の丸太柵等に県産材を使用した（環境ふれあい課）

＜森林認証材の利用＞

- ・ 県立森林公園内のウッドデッキ、木製遊具等の工作物の更新に森林認証材を使用した（環境ふれあい課）

○主な県産材利用施設

（単位：m³）

| 施設名等 | 県産材利用量 |
|--|--------|
| ・ 県営住宅の建替え（1 団地 30 戸）、全面的改善（2 団地 70 戸） | 172 |

平成 29 年度
の計画

＜公共建築物での県産材の利用＞

- ・ 県営住宅の建替え、全面的改善において腰壁や床材等に県産材を使用する（公営住宅課）

＜森林認証材の利用＞

- ・ 県立森林公園内の木製遊具等の工作物の更新に森林認証材を使用する（環境ふれあい課）

○主な県産材利用施設

（単位：m³）

| 施設名等 | 県産材利用見込量 |
|---|----------|
| ・ 県営住宅の建替え（2 団地 186 戸）、全面的改善（2 団地 70 戸） | 380 |

文化・観光部

平成 28 年度
の取組

＜公共建築物での県産材の利用＞

- ・ 富士山世界遺産センター（仮称）において、外観の印象として主たる要素である木格子について県産材を活用して施工している（12 月オープン予定）（世界遺産センター整備課）
- ・ 県が発注する東海自然歩道の改修等の事業において、県産材を利用した（観光政策課）
- ・ 富士山静岡空港旅客ターミナルビル増築・改修工事を発注し、建物に使用する県産材を調達するための調整を行った（空港運営課）
- ・ 旅客ターミナルビル東側に建築した第 2 東別棟の内装材として県産材を使用した（空港運営課）

＜市町、民間での県産材の利用＞

- ・ 市町を対象とした観光施設整備事業費補助金において、次の取組を行い、県産材の利用を働き掛けた（観光政策課）
 - ① 事業説明会や計画ヒアリングの際に、県産材の利用を働きかけた
 - ② 事業チェックリストに、引き続き県産材の利用の項目を設け、県産材の利用を促した

○ 主な県産材利用施設 (単位：m³)

| 施設名等 | 県産材利用量 |
|----------------------|--------|
| ・ 遊歩道の標識・階段等への県産材の利用 | 10 |
| ・ 富士山静岡空港第 2 東別棟 | 1 |

平成 29 年度
の計画

＜公共建築物での県産材の利用＞

- ・ 富士山世界遺産センター（仮称）のオープンに向けて引き続き確実な施工を行う（世界遺産センター整備課）
- ・ 日本平山頂シンボル施設などの県が発注する事業において、県産材を利用する（観光政策課）
- ・ 富士山静岡空港旅客ターミナルビル増築・改修工事において、建物に使用する県産材を調達するための調整を行う（空港運営課）

＜市町、民間での県産材の利用＞

- ・ 引き続き、事業説明会や計画ヒアリングの際に、県産材の利用を働きかける（観光政策課）
- ・ 補助金交付申請時に県産材の利用が可能であると判断できる箇所があった場合は、個別に県産材の利用を働きかける（観光政策課）

○ 主な県産材利用施設 (単位：m³)

| 施設名等 | 県産材利用量 |
|-------------------|--------|
| ・ 富士山世界遺産センター（仮称） | 88 |
| ・ 日本平山頂シンボル施設 | 83 |

健康福祉部

| <p>平成 28 年度 の取組</p> | <p><公共建築物での県産材の利用></p> <ul style="list-style-type: none"> 概要ヒアリング、基本設計審査、実施設計審査時において、県産材利用の普及に努めた（障害者政策課、介護保険課、こども未来課、こども家庭課） 事業者向けの資料を作成し、施設整備関係者に配布、説明するなど、普及啓発に努めた（福祉指導課） 基本設計審査時に木材利用検討書の提出、実施設計審査時や工事検査時に設計者にヒアリングによる情報収集を行った（福祉指導課） 県立こども病院の受付において、「やわらかく安らぎの印象」を感じてもらえるよう、外来改修工事を機に、外来受付周辺に県産材の内装を施した（医療政策課） <p>○ 主な県産材利用施設 (単位：m³)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 70%;">施設名等</th> <th style="width: 30%;">県産材利用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 特別養護老人ホーム第二白寿園</td> <td style="text-align: center;">15</td> </tr> <tr> <td>・ 静岡県立こども病院</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> </tbody> </table> | 施設名等 | 県産材利用量 | ・ 特別養護老人ホーム第二白寿園 | 15 | ・ 静岡県立こども病院 | 1 |
|-------------------------|--|------|--------|-------------------|----|-------------|---|
| 施設名等 | 県産材利用量 | | | | | | |
| ・ 特別養護老人ホーム第二白寿園 | 15 | | | | | | |
| ・ 静岡県立こども病院 | 1 | | | | | | |
| <p>平成 29 年度 の計画</p> | <p><公共建築物での県産材の利用></p> <ul style="list-style-type: none"> 事前相談、概要ヒアリング、基本設計審査、実施設計審査時において、県産材利用の普及に努める（障害者政策課、介護保険課、こども未来課、こども家庭課） 施設整備の立案の早い段階で良い事例などを紹介することにより、一層の普及啓発に努める（福祉指導課） 6月竣工予定の先端医学棟（県立総合病院内）の内装に木製ルーバーを採用し、やすらぎのある空間を創出する（医療政策課） <p>○ 主な県産材利用施設 (単位：m³)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 70%;">施設名等</th> <th style="width: 30%;">県産材利用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 静岡県立総合病院（先端医学棟）</td> <td style="text-align: center;">14</td> </tr> </tbody> </table> | 施設名等 | 県産材利用量 | ・ 静岡県立総合病院（先端医学棟） | 14 | | |
| 施設名等 | 県産材利用量 | | | | | | |
| ・ 静岡県立総合病院（先端医学棟） | 14 | | | | | | |

経済産業部

<公共建築物での県産材の利用>

- ・ 静岡県医療健康産業研究開発センター（ファルマバレープロジェクト新拠点施設）の整備に際し、一部県産材を使用した（新産業集積課）
- ・ 県が間接補助する掛川商工会議所会館建設において、多くの来館者の目に触れるエントランスホールの壁、事務室の方律柱、メイン階段室の壁、大会議室の壁に県産材を利用し、県産材のPRに努めた（経営支援課）
- ・ 博物館改修の設計における県産材の使用を促した（ふじのくに茶の都ミュージアム企画総務課）

<物品調達等での県産材の利用>

- ・ 静岡県技能マイスター認定式や、技能競技大会入賞者への顕彰状授与の際、県産材の額縁を使用した（職業能力開発課）
- ・ 消毒液ポンプやパンフレット類、名刺入れ等を置く「配架台」を、県内の高校生や大学生、専門学校生によるデザインコンペを行い、最優秀賞の作品を基に作製し、県民サービスセンター入口や秘書課応接スペース等県庁東館の各所に設置した（林業振興課）

<木質バイオマスとしての県産材の利用>

- ・ 農林技術研究所森林・林業センターで木質ペレットを冷暖房に利用した（研究開発課）
- ・ 次世代施設園芸導入支援事業により整備した施設の本格稼働に伴い、木質ペレットボイラーを活用した燃油価格に影響されない施設園芸の経営モデルを検証し、目標とした化石燃料の50%削減の見込みがついた（農芸振興課）

<公共土木工事での県産材の利用>

- ・ 森の力再生事業において、整備者に対して、伐採木を使用した丸太積み土留（簡易な木製構造物）の設置を指導した（森林計画課）
- ・ 林道工事の柵工においては、木柵工を標準とし県産材の利用に努めた。また、林道（森林作業道）開設の際に発生する根株等の現地発生材について、現場内で有効利用した（森林整備課）
- ・ 谷止工等の型枠について、県産材合板型枠を標準とするとともに、上流側を残置することとし、利用量増を図った（森林保全課）
- ・ 丸太筋工やマルチング材等に現地発生材を使用した（森林保全課）
- ・ 防風工に県産材を利用した（森林保全課）

<市町、民間での県産材の利用>

- ・ 平成27年度農山漁村活性化プロジェクト支援交付金及び平成28年度農山漁村振興交付金により、東伊豆町が事業実施主体となって、同町稲取地区に滞在型市民農園を整備した（地域農業課）
- ・ 滞在型市民農園には、「ラウベ」と呼ばれる農園付きの小屋10棟が整備

平成28年度
の取組

されたが、その小屋に県産材が利用された（地域農業課）

<その他>

- ・ 木材をはじめとする植物の主成分であるセルロースを、ナノオーダーまで微細化することで得られるバイオマス素材のCNF（セルロースナノファイバー）について、県内企業に技術支援等を行うなど、製品開発を促進した（商工振興課）
- ・ 県産材の利用に対する社会的な評価を高め、更なる利用拡大を図るため、県産材を活用した木造や木質化の模範となる優良建築物の表彰制度を創設した（林業振興課）

○主な県産材利用施設

（単位：m³）

| 施設名等 | 県産材利用量 |
|---------------------------|--------|
| ・ 医療健康産業研究開発センター（ファルマバレー） | 55 |

平成 29 年度
の計画

＜公共建築物での県産材の利用＞

- ・ 水産技術研究所の新築工事で腰壁等に利用する（研究開発課）
- ・ 沼津市西野の東海大学旧開発工学部 4 号館を改修して整備する、先端農業プロジェクトの拠点施設「AOI-PARC」（アオイパーク）の 1 階玄関ホール、エントランス、ロビー及び交流室の壁仕上げに、県産材を活用する（施設は、平成 29 年夏に開所予定）（農業戦略課）
- ・ 博物館改修において県産材を使用する（ふじのくに茶の都ミュージアム企画総務課）

＜物品調達等での県産材の利用＞

- ・ 静岡県技能マイスター認定式や、技能競技大会入賞者への顕彰状授与の際、県産材の額縁を使用する（職業能力開発課）

＜木質バイオマスとしての県産材の利用＞

- ・ 農林技術研究所森林・林業センターで木質ペレットを冷暖房に利用する（研究開発課）
- ・ 次世代施設園芸導入支援事業により整備した木質ペレットボイラーを活用した施設園芸団地の経営モデルの確立を支援する。また、セミナー等により木質ペレットボイラー等の取組を県内生産者に普及を図る（農芸振興課）

＜公共土木工事での県産材の利用＞

- ・ 森の力再生事業において、整備者に対して、伐採木を使用した丸太積み土留などの簡易な木製構造物の設置を指導する（森林計画課）
- ・ 林道工事の柵工においては、木柵工を標準とし県産材を利用するよう努める。また、林道（森林作業道）開設の際に発生する根株等の現地発生材について、現場内で有効利用することを促す（森林整備課）
- ・ 引き続き、溪間工において、上流側の県産材合板型枠を残置式とすることで県産材の利用を推進する（森林保全課）
- ・ 魚礁の設置工事に当たり、工事看板等への県産材の利用を働きかける（水産資源課）

＜その他＞

- ・ CNFの開発について、県内企業に対し、技術支援や他企業とのマッチングを行うことなどにより、製品化を働き掛ける（商工振興課）

○主な県産材利用施設 (単位：m³)

| 施設名等 | 県産材利用量 |
|--------------------|--------|
| ・ AOI-PARC（アオイパーク） | 3 |
| ・ ふじのくに茶の都ミュージアム | 32 |

交通基盤部

| | |
|-----------------|--|
| 平成 28 年度 の取組 | <p>＜公共建築物での県産材の利用＞</p> <ul style="list-style-type: none">・ 田子の浦港の歴史学習施設の建設にあたり、内・外装材に利用した（港湾整備課） <p>＜公共土木工事での県産材の利用＞</p> <ul style="list-style-type: none">・ 工事発注者（県及び市町担当者）に会議を通して積極的利用を依頼した（技術管理課）・ 橋梁高欄の塗装工事において、仮設防護柵として利用した（道路整備課）・ 河床洗掘防止対策として、木工沈床として利用した（河川海岸整備課）・ 防潮堤の整備に併せ、階段に利用した。また、防潮堤法面の植栽木を飛砂、強風から保護するための木柵として利用した（河川海岸整備課）・ 親水エリアの修景及び利活用を踏まえ、木柵護岸として利用した（河川海岸整備課）・ 法面からの小落石や枯枝等の路面への散乱防止対策として、法尻の木柵工に利用した（道路保全課、砂防課）・ 海岸の防潮柵の更新に利用した（農地保全課）・ 現地発生木材をチップ化し、道路や洪水調節池の法面被覆材料として利用した（道路整備課、農地保全課）・ 型枠、工事看板、バリケード、丁張、木杭等の仮設材として利用した（道路整備課、道路保全課、河川海岸整備課、砂防課、港湾整備課、農地整備課、農地保全課） |
| 平成 29 年度 の計画 | <p>＜公共建築物での県産材の利用＞</p> <ul style="list-style-type: none">・ 麻機遊水地三工区局舎（監視制御設備）の改築の基本設計にあたり、木造構造を検討する（河川海岸整備課）・ 田子の浦港の交流拠点施設（展望施設）の建築にあたり、手摺に利用する（港湾整備課）・ 富士山こどもの国のシカの避難小屋の改築にあたり、構造材として利用する（公園緑地課） <p>＜公共土木工事での県産材の利用＞</p> <ul style="list-style-type: none">・ 法面からの小落石、枯枝等の路面への散乱防止対策として、木柵工として利用する（道路保全課）・ 河川・砂防の事業において、木材を使用する工法を視野に入れ、検討を行っていくよう努める（河川海岸整備課、砂防課）・ 型枠、工事看板、バリケード、丁張、木杭等の仮設材として利用する（道路整備課、道路保全課、河川海岸整備課、砂防課、港湾整備課、農地整備課、農地保全課） <p>利用促進の取組</p> <ul style="list-style-type: none">・ 将来的にも安定的な需要を確保するため、県産材合板型枠利用の出先機関への周知、浸透を図る。また、出先機関ごとの利用量の偏在を是正す |

| | |
|--|---|
| | <p>るとともに底上げを図るよう、活用の促進を働きかける（技術管理課）</p> <ul style="list-style-type: none">・ 関連する国、市町の事業があった場合、発注機関に対し林業振興課と共同で働きかける（技術管理課）[直轄事業における倒木の利活用等] |
|--|---|

| 出納局 | |
|-------------|---|
| 平成 28 年度の取組 | <p><物品調達等での県産材の利用></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 環境局、森林・林業局からの発注仕様に基づき、間伐に寄与する紙の使用を条件とした印刷物 7 件の発注を行った（用度課） ・ サプライセンターの単価契約物品として A3 県産材額縁を 155 個購入した。（用度課） |
| 平成 29 年度の計画 | <p><物品調達等での県産材の利用></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各所属からの発注仕様に基づき、引き続き県産材使用製品の物品調達、印刷物発注に対応していく（用度課） ・ サプライセンターの単価契約物品の県産材額縁の今後の発注に対応していく（用度課） |

| 企業局 | |
|-------------|---|
| 平成 28 年度の取組 | <p><公共土木工事での県産材の利用></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 工事で仮設材（バリケード）として利用した（水道企画課） ・ 「富士山麓フロンティアパーク 小山」の造成本体工事において、伐採した支障木の一部から 1,135 m³のマルチング用チップを作成した（地域整備課） |
| 平成 29 年度の計画 | <p><公共土木工事での県産材の利用></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 工事で仮設材（バリケード）として利用する（水道企画課） ・ 「富士山麓フロンティアパーク 小山」の造成本体工事において伐採した支障木から作成した 1,135 m³のチップのうち 300 m³（予定）を植栽部のマルチング材として使用する（地域整備課） |

教育委員会

平成 28 年度
の取組

<公共建築物での県産材の利用>

- ・ 特別支援学校（西部特別支援学校）の整備において、校舎や体育館の木造・木質化を図った（財務課）
- ・ 特別支援学校（東部特別支援学校）の整備において、校舎や体育館の木造・木質化を見込んだ設計を行った（財務課）

<市町、民間での県産材の利用>

- ・ 市町教委を通じて、小中学校等の木造・木質化及び家具等への木材の活用について普及促進を図った（小中学校など 15 施設で木質化実施）（財務課）

○主な県産材利用施設

（単位：m³）

| 施設名等 | 県産材利用量 |
|-----------------------------------|--------|
| ・ 西部特別支援学校（校舎棟） | 128 |
| ・ " （体育館） | 137 |

平成 29 年度
の計画

<公共建築物での県産材の利用>

- ・ 特別支援学校（東部特別支援学校）の整備において、校舎や体育館の木造・木質化を図る（財務課）
- ・ 高校老朽改築（裾野、清水東、藤枝東、島田商業、掛川西、新居）において、校舎の木質化を図る（財務課）

<市町、民間での県産材の利用>

- ・ 市町教委を通じて、小中学校等の木造・木質化等への木材の活用について普及促進を図る（小中学校など 18 施設で木質化実施予定）（財務課）

○主な県産材利用施設

（単位：m³）

| 施設名等 | 県産材利用量 |
|-----------|--------|
| ・ 清水東高等学校 | 102 |
| ・ 新居高等学校 | 157 |

警察本部

平成 28 年度
の取組

<公共建築物での県産材の利用>

- ・ 交番、駐在所の建築において、内装材に県産材を利用した
- ・ (仮称) 浜松西警察署新築工事設計業務において、内装材への県産材の利用を考慮した。今後、平成 29・30 年度で建築を行う (木材利用実績は、平成 30 年度に計上予定) (施設課)

○主な県産材利用施設 (単位: m³)

| 施設名等 | 県産材利用量 |
|----------------------------|--------|
| ・ 交番、駐在所建築での県産材の利用(内装、造作等) | 5 |

平成 29 年度
の計画

<公共建築物での県産材の利用>

- ・ 交番、駐在所等の建築において、内装材に県産材を利用する (施設課)

○主な県産材利用施設 (単位: m³)

| 施設名等 | 県産材利用量 |
|--------------------------------|--------|
| ・ 下田警察署松崎分庁舎建築での県産材の利用(内装、造作等) | 8 |
| ・ 交番、駐在所建築での県産材の利用(内装、造作等) | 5 |

市町等

| 区分 | 事業主体 | 施設名 | 県産材 利用量 |
|------------------------|-------------------------|-----------------|----------------------|
| | | | |
| 公共建築物・ 物品調達・ 工作物 | 静岡市 (13 件) | 梅ヶ島新田観光公衆トイレほか | 57 m ³ |
| | 浜松市 (8 件) | 浜松市浜北体育館ほか | 96 m ³ |
| | 御殿場市 (3 件) | 神山自然公園ほか | 204 m ³ |
| | 富士宮市 (2 件) | 万野住宅 A 棟ほか | 62 m ³ |
| | ほか | | 228 m ³ |
| 土木工事 | 市町・国出先 | 工事用看板、木製残存型枠 ほか | 934 m ³ |
| 木質バイオマス | 公共建築物等での冷暖房等のエネルギーとして利用 | | 2,051 m ³ |
| 区分 | 事業主体 | 施設名 | 県産材 利用量 |
| | | | |
| 公共建築物・ 物品調達・ 工作物 | 静岡市 (11 件) | 日本平公園展望回廊ほか | 166 m ³ |
| | 浜松市 (7 件) | 防災学習施設ほか | 7 m ³ |
| | 伊豆市 (4 件) | 土肥小中一貫校 校舎ほか | 22 m ³ |
| | 富士市 (3 件) | (仮称) 北西部児童館ほか | 47 m ³ |
| | ほか | | 254 m ³ |
| 土木工事 | 市町・国出先 | 工事用看板、木製残存型枠 ほか | 1,086 m ³ |
| 木質バイオマス | 公共建築物等での冷暖房等のエネルギーとして利用 | | 2,251 m ³ |

平成 28 年度
の取組

平成 29 年度
の計画

地域連絡会の活動状況

| 地域等 | 参加者 | 内 容 |
|----------------------------|---|--|
| 賀 茂 H28. 10. 20 17名 | 賀茂農林事務所 下田土木事務所 技術管理課、林業振興課 下田市、河津町、松崎町、西伊豆町 | <現地視察> ・ 県産材合板型枠使用工事（西伊豆町） <県産材利用に関する情報提供と意見交換> ・ 「“ふじのくに” 公共建築物等木使い推進プラン」の説明 ・ 県及び各市町における取組状況の発表及び意見交換 ・ 公共建築物での県産材利用目標の達成に向けた課題把握と利用に向けた働きかけ |
| 東 部 H28. 9. 1 19名 | 東部農林事務所 沼津土木事務所 林業振興課 熱海市、三島市、沼津市、御殿場市 伊豆市、伊豆の国市、函南町、清水町 長泉町、小山町 | <県産材利用に関する情報提供と意見交換> ・ 「“ふじのくに” 公共建築物等木使い推進プラン」の説明 ・ 県産材取組事例の紹介 ・ 県及び各市町における取組状況の発表及び意見交換 ・ 公共建築物での県産材利用目標の達成に向けた課題把握と利用に向けた働きかけ |
| 富 士 H28. 11. 1 27名 | 富士農林事務所 富士土木事務所 技術管理課、林業振興課 富士市、富士宮市 富士市森林組合、富士森林組合 ほか | <県産材利用に関する情報提供と意見交換> ・ 「“ふじのくに” 公共建築物等木使い推進プラン」の説明 ・ 県及び各市町における取組状況の発表及び意見交換 <事例報告> ・ 木造・木質建築事例等（三井住商建材(株)） ・ 木材保存処理（日本木材防腐工業組合） ・ (仮称)富士山世界遺産センター木格子への納材について（影山木材(株)） |
| 中 部 H28. 9. 6 14名 | 中部農林事務所 静岡土木事務所 林業振興課 静岡市 静岡木材業協同組合 | <県産材利用に関する情報提供と意見交換> ・ 「“ふじのくに” 公共建築物等木使い推進プラン」の説明 ・ 木材利用事例の紹介 ・ 県及び各市町における取組状況の発表及び意見交換 <現地視察> ・ 県総合社会福祉会館シズウェル（静岡市） |
| 志太榛原 H28. 12. 21 24名 | 志太榛原農林事務所、静岡空港管理事務所 島田土木事務所、焼津港管理事務所 御前崎港管理事務所 技術管理課、林業振興課 焼津市、藤枝市、島田市、吉田町、牧之原市 COC 大井川グループ | <県産材利用に関する情報提供と意見交換> ・ 「“ふじのくに” 公共建築物等木使い推進プラン」の説明 ・ 県産材利用事例の紹介 ・ 県及び各市町における取組状況の発表及び意見交換 ・ 製材ネットワークの紹介（COC 大井川グループ） ・ 公共建築物での県産材利用目標の達成に向けた課題把握と利用に向けた働きかけ |
| 中 遠 H28. 11. 28 18名 | 中遠農林事務所 袋井土木事務所 技術管理課、林業振興課 磐田市、袋井市、掛川市、菊川市 御前崎市、森町 掛川市森林組合、森町森林組合 | <現地視察> ・ 森町総合体育館（森町） <県産材利用に関する情報提供と意見交換> ・ 「“ふじのくに” 公共建築物等木使い推進プラン」の説明 ・ 県産材活用事例の紹介及び森林認証に関する情報提供 ・ 県及び各市町における取組状況の発表及び意見交換 ・ 公共建築物での県産材利用目標の達成に向けた課題把握と利用に向けた働きかけ |
| 西 部 H28. 11. 29 26名 | 天竜森林管理署 西部農林事務所天竜農林局 浜松土木事務所天竜支局 技術管理課、林業振興課 浜松市、湖西市 天竜木材産地協同組合、浜北木材協同組合 天龍木材協同組合、天竜浜北建築業組合ほか | <県産材利用に関する情報提供と意見交換> ・ 「“ふじのくに” 公共建築物等木使い推進プラン」の説明 ・ 県及び各市町における取組状況 ・ 公共建築物の木造・木質化に向けた意見交換 ・ 公共建築物での県産材利用目標の達成に向けた課題把握と利用に向けた働きかけ |
| 7 連絡会・計 145 名 | | |

